

修了生からの  
お便り



## 教師育成に掛ける ～情熱と使命感～

私は、新潟県の現職派遣教員として社会系コースに在籍させていただきました。大学院では、「金融に関する消費者教育の授業改善」をテーマとして研究を行いました。公民教育・地理教育・歴史教育に関する専門的な知識や具体的な教育法を先生方から懇切丁寧に教えていただきました。

大学院修了後は中学校現場に戻り、2年間の研究成果を生徒たちに還元しようと授業開発に取り組んできました。社会科の授業構成をはじめ、理論と実践を融合させた授業の原動力を培うことができたのは上越教育大学での学びのお陰だと実感しています。

現在、私は信州大学 学術研究院総合人間科学系 教職教育部に勤めています。主な研究領域は社会科教育学（金融消費者教育）の指導法・教材開発です。この研究成果を活かし、現職教員を対象にした教員免許状更新講習を担当しています。

さらに、専門学部（人文・理・農・工・繊維）生の教職関係の授業も担当して



います。

授業は主に「生徒指導」「特別活動」「キャリア教育」と「教職相談（教員採用試験に向けた試験対策指導を含む）」を担当しています。学生から「学校での実践経験を基に具体的な事例を扱いつながら授業をしてくれるのでわかりやすい」「ファシリテーションの手法を活用した授業は思考力とコミュニケーション力が高まる」などという感想をいただいたときは、とてもやりがいを感じます。また、信州社会科教育研究会松本支部に所属し、松本近郊の先生方と一緒に社会科の教材・指導法の開発など社会科の授業作りに参画しています。今後、これまで以上に「情熱と使命感」を持ち、日本全国各地に優秀な教員を輩出すべく職務に邁進していきたいと思っています。



**田村 徳至**  
(たむら よしみち)

新潟県加茂市出身。平成18年3月修了後、新潟県公立中学校勤務を経て平成25年4月より信州大学

の専任講師として勤務。公立中学校勤務時代、中越社会科研究会に所属し「主権者教育」や「行動経済学の概念を活用した金融経済教育」を実践してきた。

現在、信州社会科教育研究会・松本支部にも所属し、主に松本近隣の中学校社会科の先生方の授業力向上に向けて精力的に活動している。